

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 エネルギーコンソーシアム事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商工・エネルギー政策課 エネルギー係 電話番号：058-272-1111(内3622)

E-mail：c11351@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,570 千円 (前年度予算額： 11,900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,900	5,810	0	0	0	0	0	0	6,090
要求額	11,570	5,645	0	0	0	0	0	0	5,925
決定額	11,570	5,645	0	0	0	0	0	0	5,925

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、エネルギー関連市場の拡大が予測されており、新たなビジネスチャンスとして積極的な投資が行われている。

県では、2050年「脱炭素社会ぎふ」の実現に向けたエネルギー政策の方向性を示す「岐阜県エネルギービジョン」を令和4年3月に策定し、省エネの促進などとともに、産業振興を掲げている。

この産業振興に向けた取組を促進するため、エネルギー関連分野の技術、製品、サービスの開発や社会実装を産学金管が連携して取り組む必要がある。

(2) 事業内容

- ・ワーキンググループ活動支援事業(10,000千円)
重点支援：補助率1/2、上限400万円
一般支援：補助率1/2、上限200万円
- ・講習会及び先進事例見学会開催事業 (350千円)
- ・エネルギー関係展示会出展支援事業 (650千円)
- ・部会活動事業 (156千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県エネルギービジョンの重点プロジェクトである「産業の脱炭素化プロジェクト」を推進するため、産業振興に向けた技術開発等の取り組みを推進する必要があることから、県負担は妥当である。

また、本コンソーシアムは、県からの負担金に加え、会員からの会費により運営する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	11,290	事務局運営費、技術講習会及び先進事例見学会開催事業費、WG活動支援事業、展示会出展支援事業費、部会活動事業費
事務費	280	コンソーシアム事業の円滑な推進のための県運営費
合計	11,570	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県エネルギービジョン

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

産学金官が参画する「次世代エネルギー産業創出コンソーシアム」の会員が連携して、再生可能エネルギーの活用技術や新たな省エネルギー技術の調査・研究開発によって、県内エネルギー産業の創出を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①技術開発助成件数（累計）		49件	58件	63件	68件	72%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和2年度総会の開催（書面議決） 令和元年度ワーキンググループ活動成果発表会実施 令和2年度ワーキンググループ活動支援補助金に2件交付採択（2,520千円）
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和3年度総会の開催（書面議決） 令和2年度ワーキンググループ活動成果発表会実施 令和3年度ワーキンググループ活動支援補助金に4件交付採択（6,596千円）
	指標① 目標：48件 実績：44件 達成率：92%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 令和4年度総会の開催 令和3年度ワーキンググループ活動成果発表会実施 令和4年度ワーキンググループ活動支援補助金に5件交付採択（6,854千円） 先端技術講演会、部会分科会勉強会実施
	指標① 目標：53件 実績：49件 達成率：92%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	岐阜県エネルギービジョンの柱である「産業の脱炭素化プロジェクト」の重要施策であるため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	ワーキンググループにおいて太陽光等の再生可能エネルギーの活用に向けた技術開発が進んでおり、実用化が期待される。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	大学や関係機関等との連携を強化し、会員への技術情報の提供等を通じて、ワーキンググループ形成の促進を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 エネルギーを取り巻く状況の変遷により、コンソーシアム設立当時とは求められる技術要素や社会のニーズが変化しているため、活動方針も見直す必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コンソーシアムとしての活動内容を見直すとともに、間口を広げ、脱炭素化に向けたエネルギー関連技術の開発や活用に関心のあるより多くの事業者等の参画を促す。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】